

デジタル関連の実装動向等（調査票）

【回答自治体： 佐賀県 】

事業名	デジスタ（担当業務の課題改善を通じたデジタル人材育成）
実施期間	令和7年7月～
概要	<p>行政の現場で必要となるデジタルスキル・知識を職員が自ら学び、学んだ内容を活用して、自身の担当業務の課題改善を実践する取組。単なる知識習得にとどめず、課題の設定、試行、改善、成果報告までを一連の活動として行う。</p> <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業担当者（正職員）から20～30名程度を手上げ方式で募集。応募時に、担当業務の課題、何を・いつまでに・どのように改善するか、期待する定量・定性的効果を整理し、所属長の承認を得る。 ・採択後は、キックオフ、各自の学習・実践、取組成果の報告・共有を実施。Excel、ノーコードツール、情報共有、業務自動化、データ整理・分析など、日常業務に役立つスキルを自分のペースで学び、実務で試行する。 ・毎月1回の「デジスタカフェ」で、DXに必要な知識・スキルに関する講義、参加者同士の悩みや事例の共有、業務改善の専門家や行政デジタル化担当職員への相談機会を設ける。 ・学習・実践を支援するため、Copilot for Microsoft 365の有償ライセンス、kintoneアカウント、Udemy Businessによる動画学習、個別相談等を提供する。 <p>【ねらい】</p> <p>各所属の現場で職員が主体的に業務改善に取り組むことで、業務の効率化、事務処理の正確性向上、ヒューマンエラーの防止を図るとともに、県民利便性・県民満足度の向上につなげる。併せて、取組成果を共有し、庁内への横展開と自律的なDX人材の育成を進める。</p>